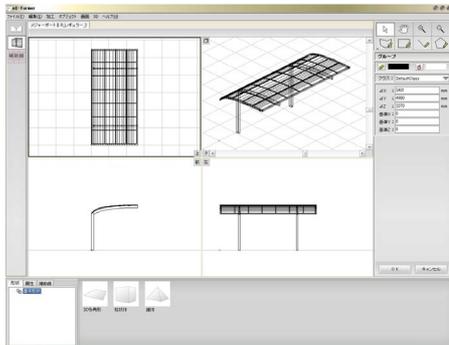


eE-Former

既製製品を加工したり、オリジナルの図形を作成する機能です。

eE-Formerの使用方法



① eE-Former画面説明

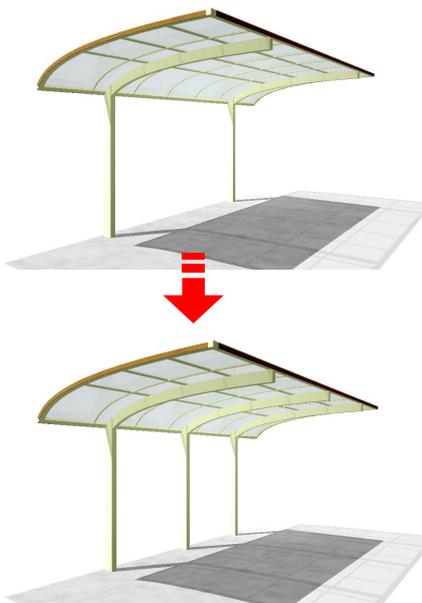
eE-Former画面の概要を説明します。

② eE-Former基本操作

eE-Formerの基本操作を説明します。

③ 既製製品を加工する

既製製品を任意で加工する方法です。
手順は「既製製品を編集する」で説明しています。



④ オリジナルを作成する

オリジナルの図形を作成する方法です。
手順は「オリジナルの製品を作成する」で説明しています。



モードボタン：図形編集モードを切替えます。



シンボル名・ファイル名：
シンボル名前を表示します。
シンボルを外部保存した場合はファイル名
が () 内に表示されます。

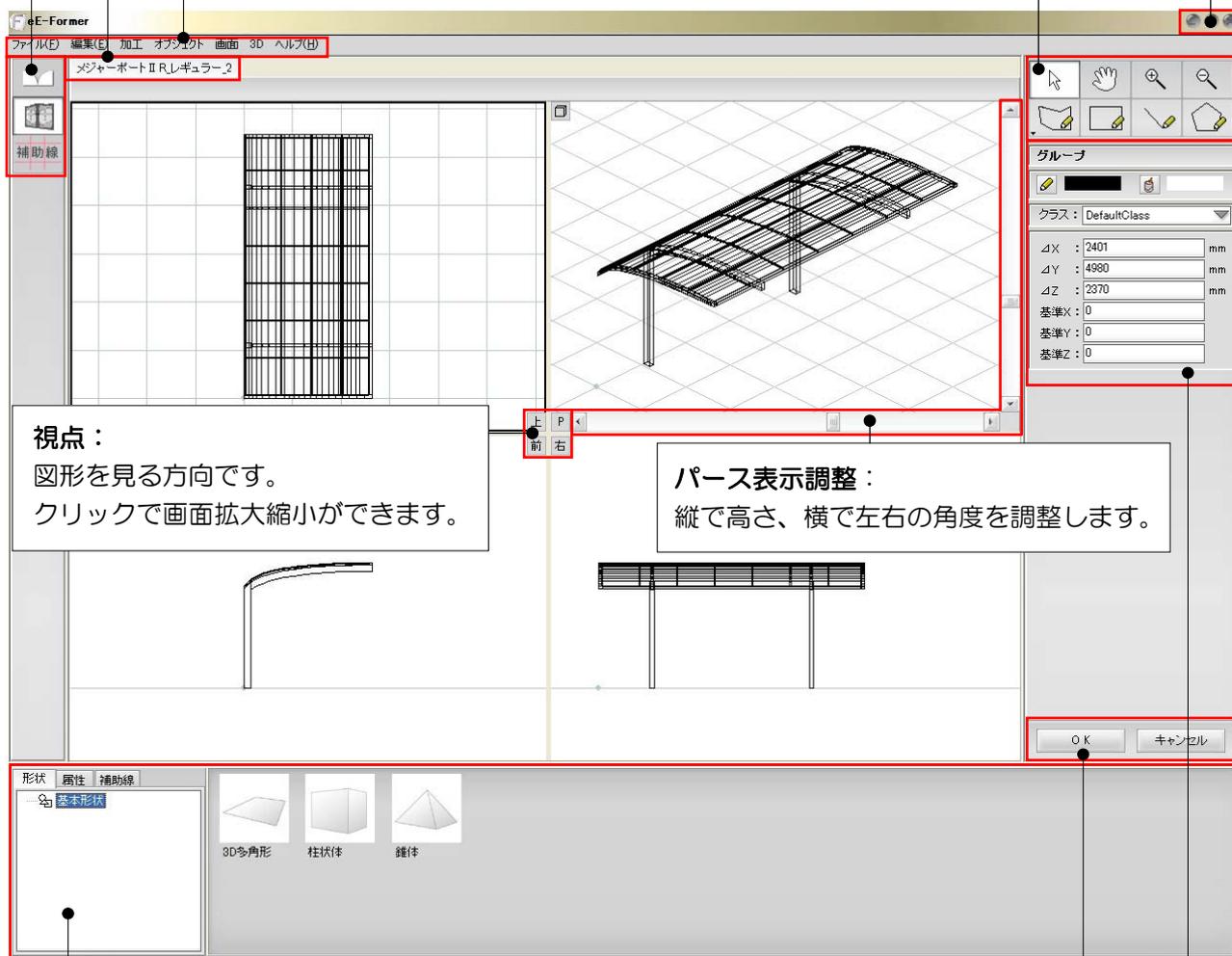
メニュー：
図形作成や加工に関する機能です。

① eE-Former画面説明

eE-Former画面の概要を説明します。

作業ツール：作業に使用するツール一覧です。

閉じる：eE-Formerでの
作業を終了します。



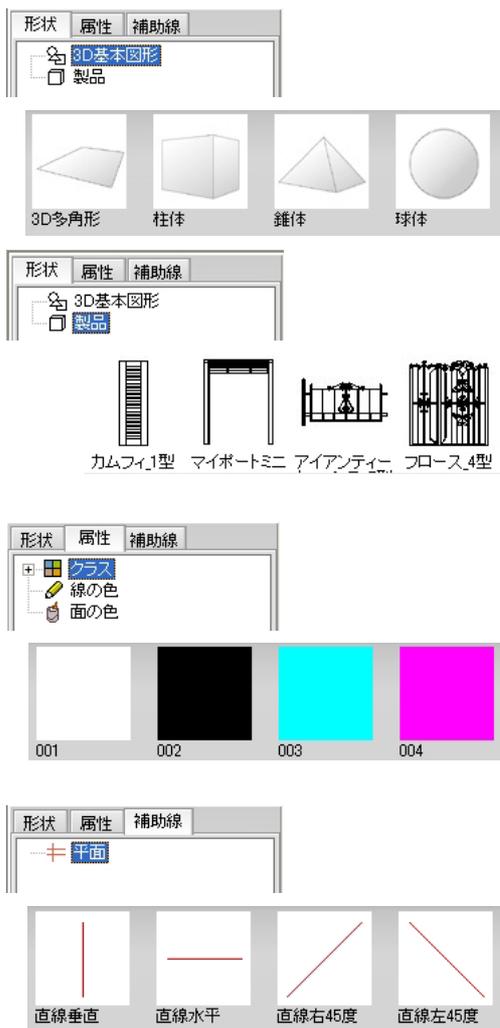
視点：
図形を見る方向です。
クリックで画面拡大縮小ができます。

パース表示調整：
縦で高さ、横で左右の角度を調整します。

①-1：図形素材：3D図形や仕様、補助線など作図に必要な材料を選択します。

OK：図形をeE-CADへ作成します。
キャンセル：作業をやめてeE-CADへ戻ります。

①-2：データパレット：選択した図形の詳細情報を表示します。



①-1：図形素材

eE-Formerで図形を作成するための材料が選択できます。

【形状】

基本図形：2D、3D図形の基本形状が表示されます。

製品：登録されている製品が表示されます。

【属性】

クラス：図形に割り当てる仕様が表示されます。

線の色：図形の線の色

面の色：図形の面の色

【補助線】

補助線を表示します。

①-2：データパレット

選択した図形の内容を表示します。

The screenshot shows the 'データパレット' (Data Palette) for a selected polygon shape. The following callout boxes explain the components:

- 選択図形の名称** (Selected Shape Name): Points to the '多角形' (Polygon) label at the top of the palette.
- 選択図形の線・面の色** (Selected Shape Line/Face Color): Points to the color swatches for the line and face colors.
- 図形に割り当てられているクラス名** (Class Name Assigned to the Shape): Points to the 'クラス：石貼1' (Class: Stone Paste 1) dropdown menu.
- 各図形情報** (Each Shape Information): Points to the input fields for dimensions (ΔX, ΔY, ΔZ) and base coordinates (基準X, 基準Y, 基準Z). A note states: '表示される内容は図形によって異なります。' (The displayed content varies by shape).
- 多角形の開閉** (Polygon Open/Close): Points to the '多角形の開閉' (Polygon Open/Close) checkbox. A note states: '多角形の場合図形の開閉を選択できます。' (In the case of a polygon, you can select the open/close status of the shape).

② eE-Former基本操作

eE-Formerの基本操作を説明します。

メニュー：
図形作成や加工に関する機能です。



②-1：ファイルメニュー
新規作成や保存などに関する機能です。

②-2：編集メニュー
取り消しや複製などに関する機能です。

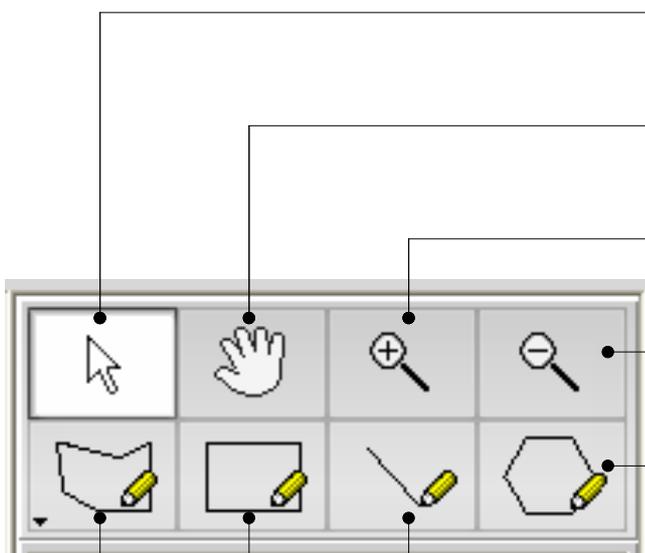
②-3：加工メニュー
移動や切欠きなどに関する機能です。

②-4：オブジェクトメニュー
前後関係、グループなどに関する機能です。

②-5：画面メニュー
画面全体表示などに関する機能です。

②-6：3Dメニュー
3D多角形や柱体などに関する機能です。

作業ツール：
作業に使用するツール一覧です。



②-7：矢印ツール
図形選択に使用する機能です。

②-8：パンツール
表示画面の移動に使用する機能です。

②-9：拡大ツール
画面の拡大に使用する機能です。

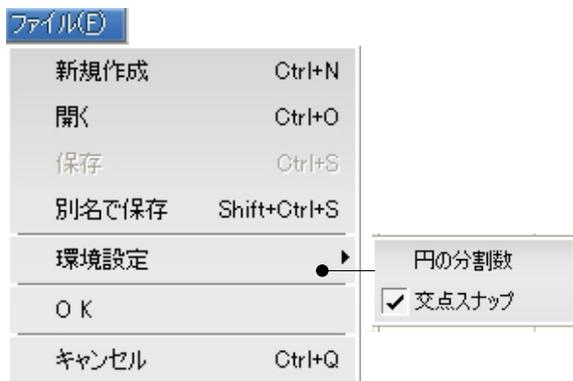
②-10：縮小ツール
画面の縮小に使用する機能です。

②-11：正多角形ツール
正多角形作成に使用する機能です。

②-12：手書直線ツール
直線作成に使用する機能です。

②-13：四角形ツール
四角形作成に使用する機能です。

②-14：多角形ツール
多角形作成に使用する機能です。



②-1 ファイルメニュー

新規作成や保存などに関する機能です。

ファイル - 新規作成
新規でデータを作成する時使用します。

ファイル - 開く
データを開く時使用します。

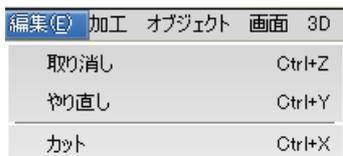
ファイル - 保存
データを保存する時使用します。

ファイル - 別名保存
データを別名で保存する時使用します。

ファイル - 環境設定
円の分割数と交点スナップの設定が出来ます。

ファイル - OK
編集が終了し、eE-CADに作成した図形を配置します。

ファイル - キャンセル
eE-Formerでの作業をキャンセルします。



②-2：編集メニュー

取り消しや複製などに関する機能です。

編集 - 取り消し
作業を取り消したい時使用します。

編集 - やり直し
取り消した作業を戻したい時使用します。

編集(E)		加工	オブジェクト	画面	3D
取り消し	Ctrl+Z				
やり直し	Ctrl+Y				
カット	Ctrl+X				
コピー	Ctrl+C				
ペースト	Ctrl+V				
ペースト(同位置)	Shift+Ctrl+V				
複製	Ctrl+D				
配列複製	Shift+Ctrl+D				
すべてを選択	Ctrl+A				
消去					

編集 - カット

図形を画面に残さず記憶出来ます。ペーストをすると、カットした図形が出てきますが、記憶できる図形は1つのみです。

編集 - コピー

図形を画面に残して記憶出来ます。ペーストをすると、コピーした図形が出てきますが、記憶できる図形は1つのみです。

編集 - ペースト

カット及びコピーした図形を出す時使います。位置はカーソル(矢印)がある場所に出てきます。

編集 - ペースト(同位置)

カット及びコピーした図形を出す時使います。位置はカット及びコピーした時と同じ場所に出てきます。

編集 - 複製

重ねてもう一つ図形を作成します。

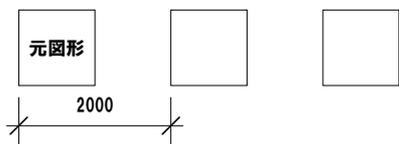
編集 - 配列複製

設定した数値分同じ図形を作成します。

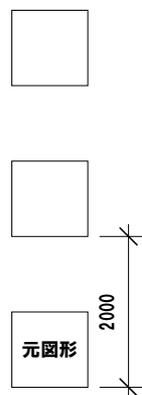
配列複製		
個数: <input type="text" value="1"/>	間隔X: <input type="text" value="0"/> mm	
	間隔Y: <input type="text" value="0"/> mm	
	間隔Z: <input type="text" value="0"/> mm	
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>		

例1)

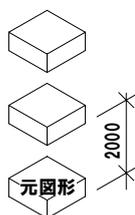
個数: 2
 間隔X: 2000
 間隔Y: 0
 間隔Z: 0

**例2)**

個数: 2
 間隔X: 0
 間隔Y: 2000
 間隔Z: 0

**例3)**

個数: 2
 間隔X: 0
 間隔Y: 0
 間隔Z: 2000

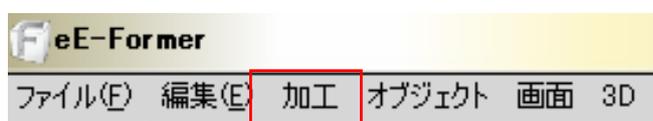


編集 - すべてを選択

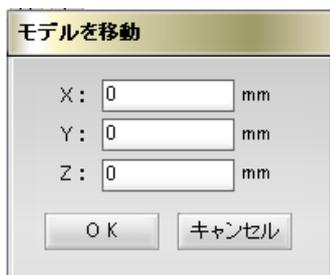
画面上のすべての図形を選択します。

編集 - 消去

選択した図形を消去します。

**②-3：加工メニュー**

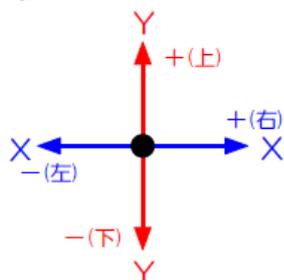
移動や切欠きなどに関する機能です。

**加工 - 移動**

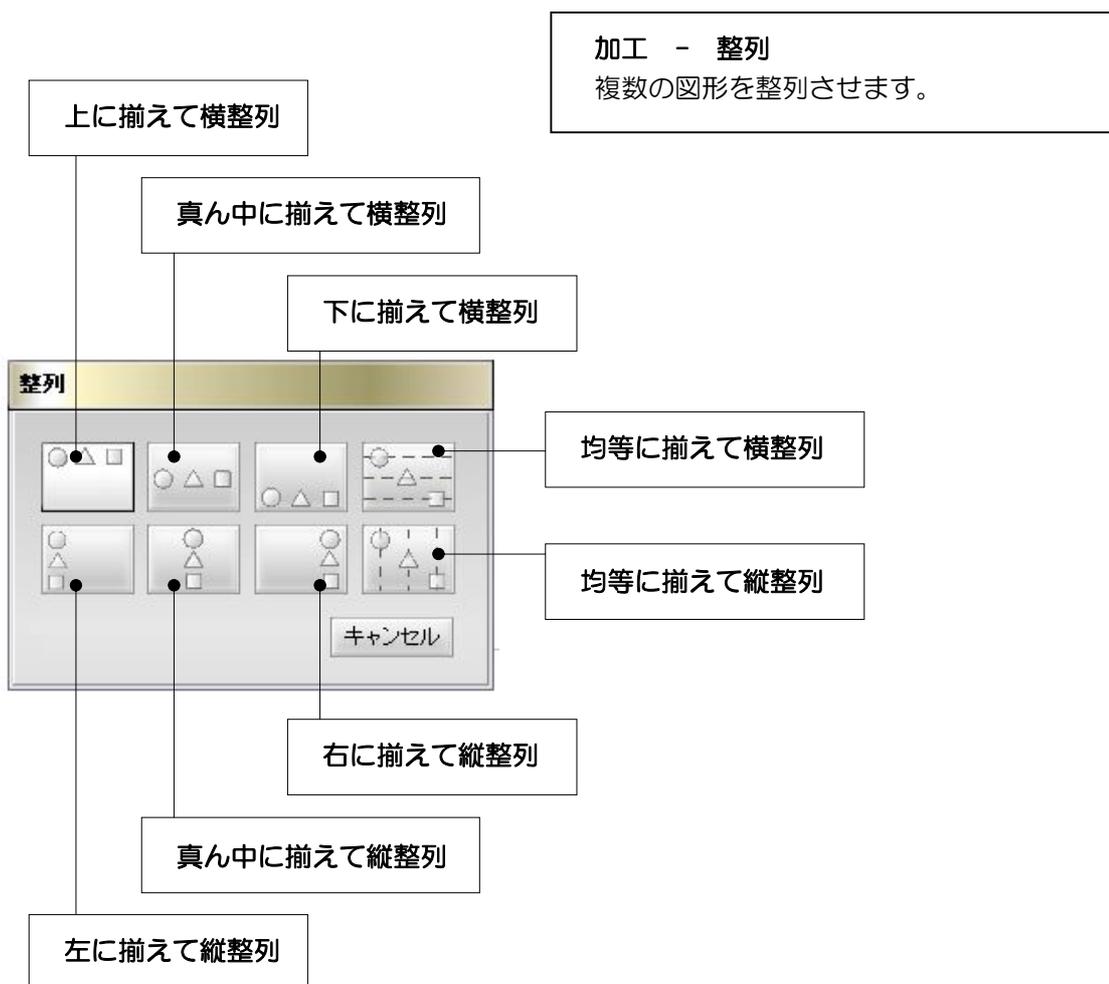
選択した図形をX、Y方向に数値移動します。
前からの視点画面から図形を選択し、Y方向に移動すると高さを移動させる事になります。

加工 - モデルを移動

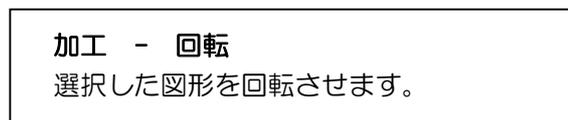
選択した図形をX,Y,Z方向に数値移動します。どの視点で選択してもX,Y,Zの数値で移動します。



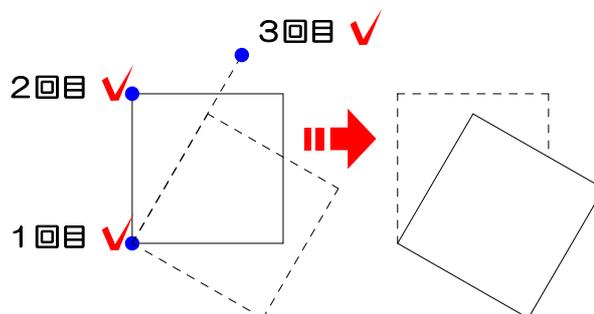
Zはレベル (高さ) です。
Z+はレベル (高さ) が上がります。
Z-はレベル (高さ) が下がります。



回転	Ctrl+R
角度	Shift+Ctrl+R
左90°	Ctrl+L
右90°	Shift+Ctrl+L



回転・・・3回のクリックで回転します。



角度・・・角度入力で回転します。

左90°・・・左に90度回転します。

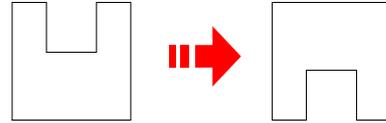
右90°・・・右に90度回転します。

上下反転
左右反転

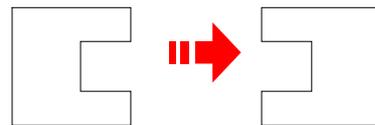
加工 - 反転

選択した図形を反転させます。

上下反転・・・上下が反転します。



左右反転・・・左右が反転します。



オフセットの設定

オフセット: mm

OK

キャンセル

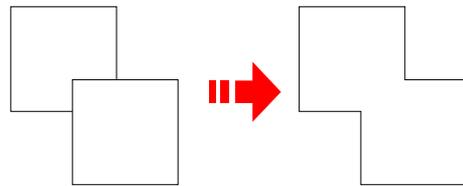
加工 - オフセット

補助線にのみ使用できます。

数値分を平行にもう一本補助線が作成されます。

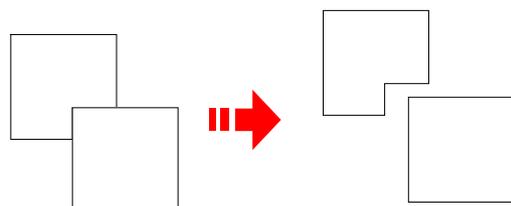
加工 - 貼り合わせ

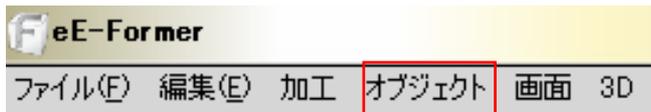
2つの図形を貼り合わせて1つの図形にします。



加工 - 切り欠き

2つの図形の重なりあった部分を削り取ります。切り欠き後、図形を動かさないと切り欠けたか確認は出来ません。





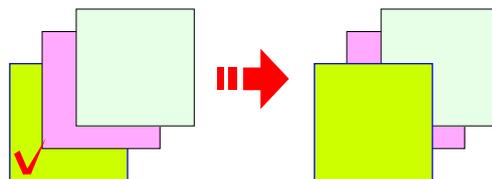
②-4：オブジェクトメニュー

前後関係、グループなどに関する機能です。

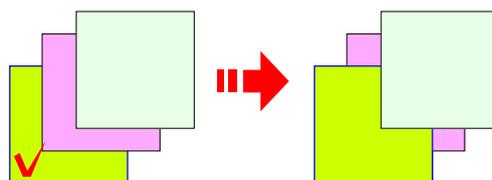
オブジェクト - 前後関係

重なりあった図形の前後関係を変更します。

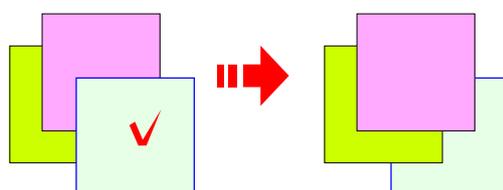
最前へ・・・選択図形が一番上に表示されます。



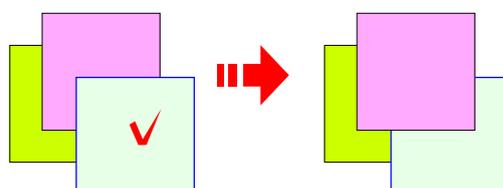
前へ・・・選択図形が一つ上に表示されます。



最後へ・・・選択図形が一番下に表示されます。



後ろへ・・・選択図形が一つ下に表示されます。





オブジェクト - グループ

複数の図形をひとまとめにし、選択や移動が一度に出来ます。

オブジェクト - グループ解除

グループにした図形を解除します。

オブジェクト - グループに入る

グループにした図形に入ると、グループ図形のみ表示され編集出来ます。

オブジェクト - グループを出る

グループに入った後、元に戻る時使用します。

オブジェクト - 参照図形登録

参照図形登録すると、同じ名称の参照図形は複数配置しても同じ1つの図形と認識され、1つの参照図形を変更すると、同じ名称の参照図形は全て変更されます。

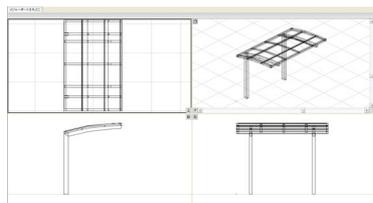
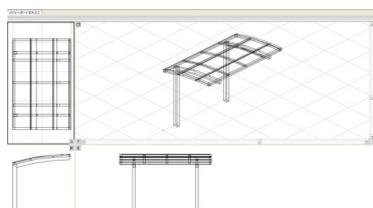
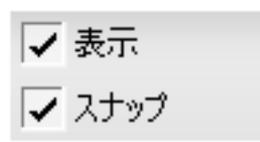
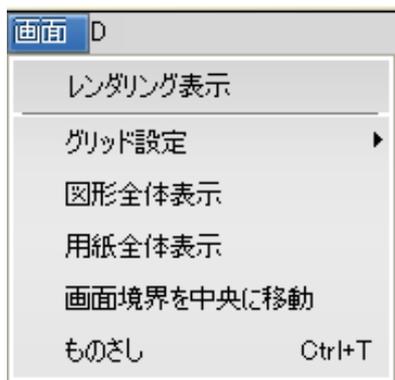
オブジェクト - 参照図形解除

参照図形登録したものを解除します。

オブジェクト

- オブジェクト名称を変更

オブジェクト名称（eE-Formerで作成したデータ名）を変更します。



②-5：画面メニュー

画面全体表示などに関する機能です。

画面 - レンダリング表示

パース画面がカラーで表示されます。

画面 - グリッド設定

グリッドの設定が出来ます。

表示・・・グリッドが表示されます。

スナップ・・・グリッドに図形が吸着します。

画面 - 図形全体表示

すべての図形を画面上に表示します。

画面 - 用紙全体表示

用紙全体を画面上に表示します。

画面 - 画面境界を中央に移動

4つの画面の表示比率を変えた場合に、画面を初期状態に戻します。

画面 - ものさし

二点のクリックでその間の長さを計ります。

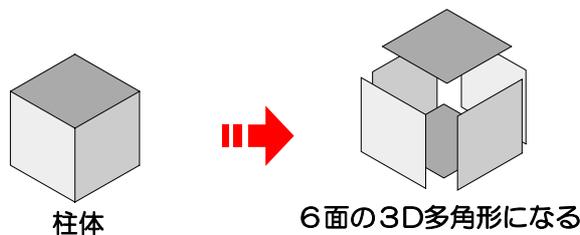


②-6 : 3Dメニュー

3D多角形や柱体などに関する機能です。

3D - 3D多角形に変換

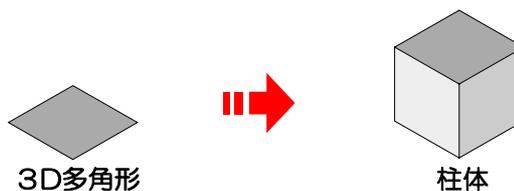
選択した図形を3D多角形に変換します。



 柱体より3D多角形の方がデータは軽くなります。

3D - 柱体

選択した図形を柱体に変換します。



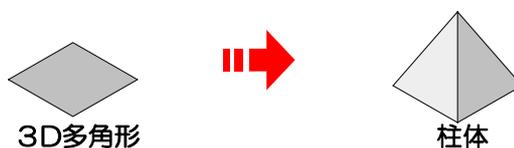
 高さは初め1回目は入力欄が出ますが、2回目以降は1回目に入力した高さが自動的に入ります。

 2回目以降の高さ変更方法・・・データパレットH欄に数値入力します。



3D - 錐体

選択した図形を錐体に変換します。





②-7：矢印ツール

図形選択に使用する機能です。



②-8：パンツール

表示画面の移動に使用する機能です。



②-9：拡大ツール

画面の拡大に使用する機能です。



②-10：縮小ツール

画面の縮小に使用する機能です。



②-11：正多角形ツール

正多角形作成に使用する機能です。

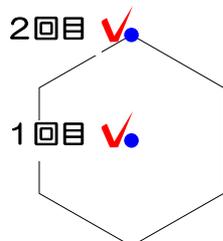
1：頂点の数欄で、頂点数を入力します。

2：1点目をクリックをします。



クリックした点が、正多角形の中心になります。

3：2点目をクリックをします。





②-12：手書直線ツール

直線作成に使用する機能です。

1：1点目（始点）をクリックします。

2：2点目（終点）をクリックします。

1回目 ✓ 2回目



主に平面図の作成に使います。
柱体、錐体にはなりません。3D多角形
になりますが、面を持たないテクスチ
ャーは貼れず、その為レンダリングに
は表示されません。



②-13：四角形ツール

四角形作成に使用する機能です。

1：1点目をクリックします。

2：2点目をクリックします。

1回目 ✓ 2回目



②-14：多角形ツール

多角形作成に使用する機能です。

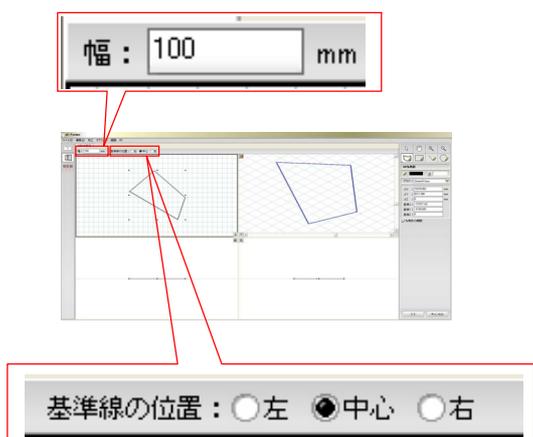
多角形・・・多角形作成に使用する機能です。



1回目 ✓ 2回目 ✓ 3回目 ✓ 4回目 ✓

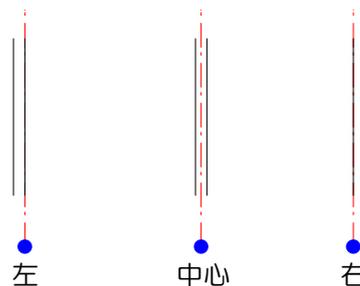


ダブルライン多角形・・・ダブルラインの多角形作成に使用する機能です。



1：幅欄に数値を入力します。

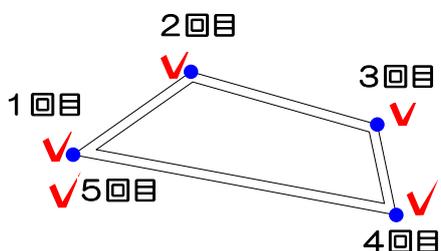
2：基準線の位置欄で、基準を選びます。



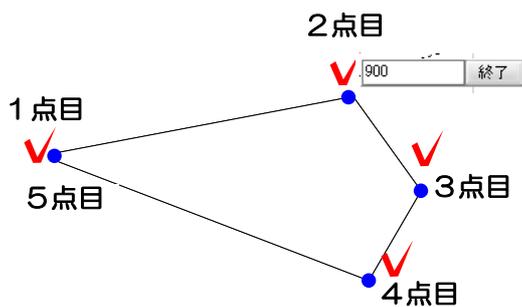
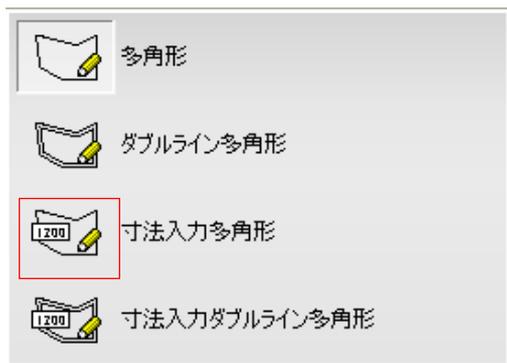
1：1点目（始点）をクリックします。

2：2点目～4点目をクリックします。

3：5点目（終点）は1回目のクリック点をクリックし図形を閉じ完成します。



1回目クリック点に戻らずに、ダブルクリックすると図形が完成されます。



寸法入力多角形・・・

一辺、一辺の寸法を入力しながら多角形を作成する機能です。

1：1点目（始点）をクリックします。

2：2点目をクリックします。寸法入力欄が表示されます。

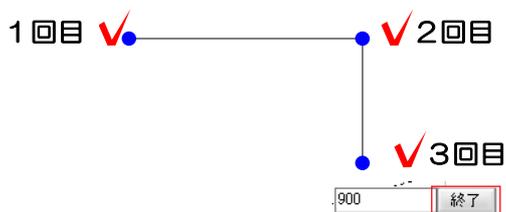
3：寸法入力欄に数値を入力します。

4：Enterキーを押します。一辺が描け、次の一辺を描く事ができます。

5：次の頂点をクリックすると、寸法入力欄が表示されます。

6：作業3、4を描きたい頂点分操作します。

7：1点目（始点）のクリックした点をクリックすると図形を閉じ完成します。

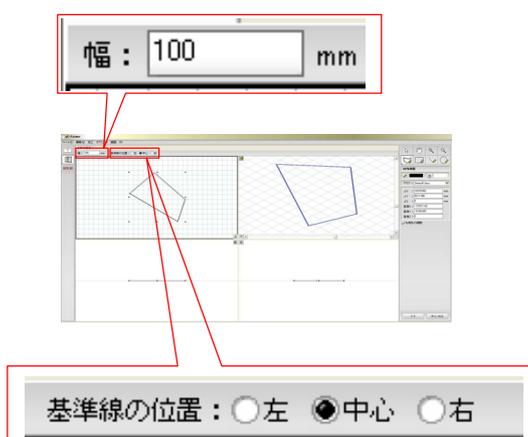


1回目クリック点に戻らずに、数値欄の終了をクリックすると図形が終了されます。



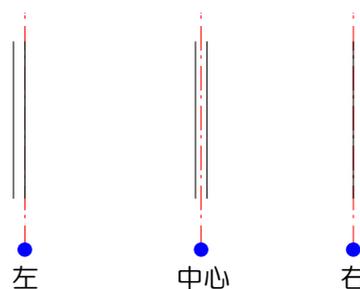
寸法入力ダブルライン多角形・・・

一辺、一辺の寸法を入力しながらダブルライン多角形を作成する機能です。



1：幅欄に数値を入力します。

2：基準線の位置欄で、基準を選びます。



1：1点目（始点）をクリックします。

2：2点目をクリックします。寸法入力欄が表示されます。

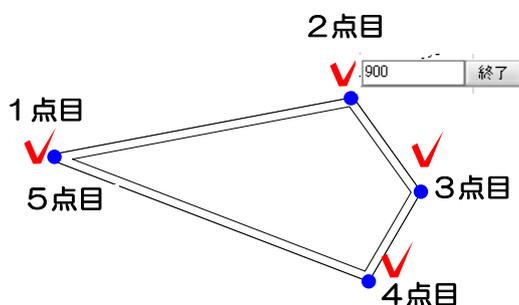
3：寸法入力欄に数値を入力します。

4：Enterキーを押します。一辺が描け、次の一辺を描く事ができます。

5：次の頂点をクリックすると、寸法入力欄が表示されます。

6：作業3、4を描きたい頂点分操作します。

7：1点目（始点）のクリックした点をクリックすると図形を閉じ完成します。

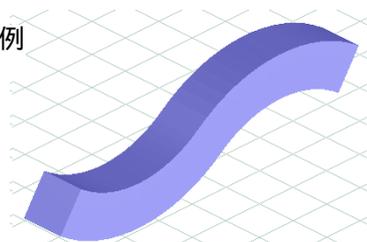


1回目クリック点に戻らずに、数値欄の終了をクリックすると図形が終了されます。

- 15 : 3Dパス図形



作成例



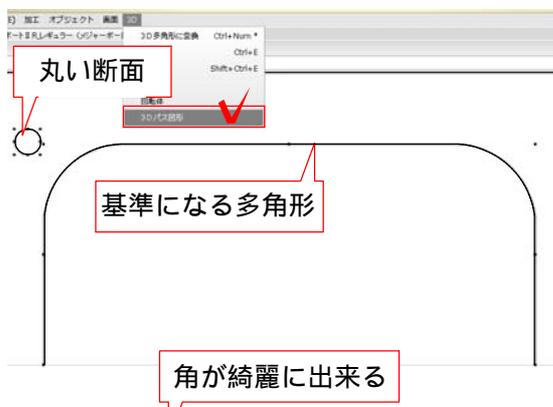
直線や曲線に沿って、同一の断面を持つ図形を作成する機能です。

曲がったポール等の繋ぎ目を綺麗に作ることが出来ます。

断面になる3D多角形と基準になる補助線か3D多角形か直線を作成します。

断面になる3D多角形をドラッグして基準になる図形の上でCtrlを押したまま離すと、作成図形の選択の画面が出ます。

「3Dパス図形」をクリックしてOKを押します。



作成例



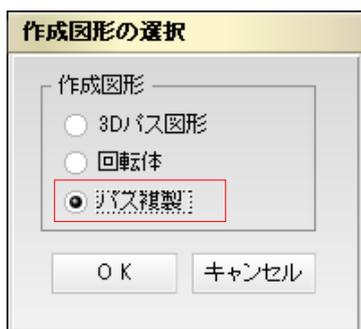
メニューを使用する場合は対象の図形をすべて選んだ状態で、3Dメニューから3Dパス図形を選択し、基準になる図形をクリックすることで同様の図形を作成することができます。

基準になる図形を正確に書くことがポイントです。



【eE-CADに戻ってからの再編集について】

eE-Formerで作成した図形の中には一度eE-CADに戻ると3D多角形のグループになっている図形があります。3Dパス図形・回転体・多段柱体・柱体・錐体等がそれに当たります。eE-CADに行かずにeE-Formerのデータ(sdd)で保存すると形式を保ったまま保存できます。



- 16 : パス複製

直線や曲線に沿って、図形を連続して複製する機能です。

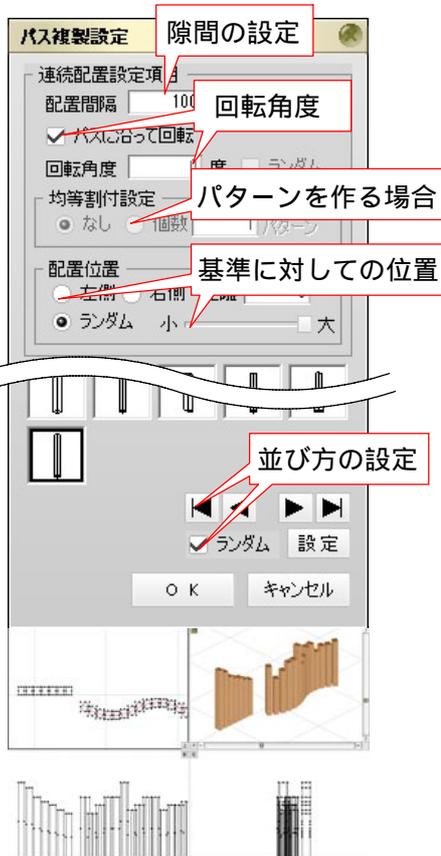
造園レイヤの機能「連続配置設定」と似ています。

複製する図形をドラッグし、Ctrlキーを押しながら補助線の上でドロップすると、パス複製の設定画面が出てきます。

複製する図形(複数でも可)



基準になる補助線

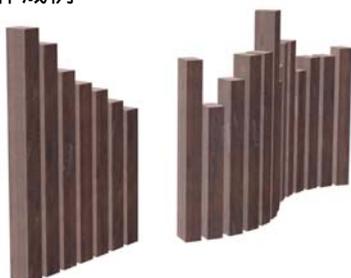


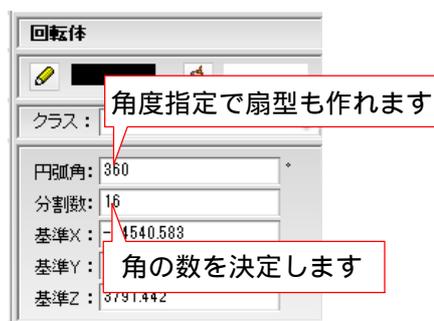
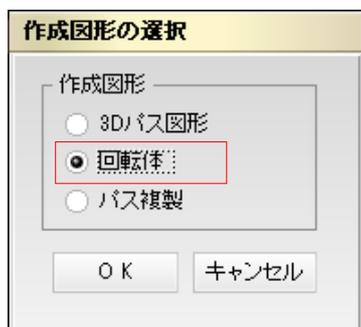
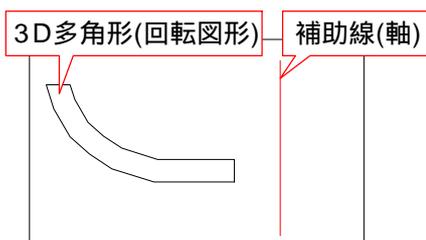
配置間隔や角度を設定し、OKを押します。複数の図形を対象としている場合は、その並びの順番の決定や、ランダムにチェックを入れます。

OKを押すと図形が作成されます。

メニューを使用する場合は対象の図形をすべて選んだ状態で、編集メニューから「3Dパス複製」を選択し、基準になる図形をクリックすることで同様の図形を作成することができます。

作成例





- 17 : 回転体

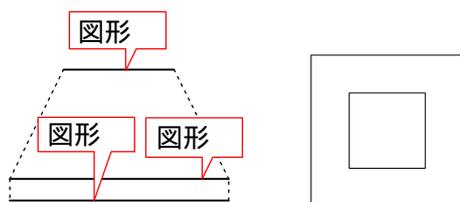
補助線を軸にして選択した3D多角形が回転する軌跡を図形にすることが出来ます。

補助線と3D多角形を描き、3D多角形をCtrlキーを押しながら補助線上でドラッグドロップするか、3Dメニューから回転体を選択します。

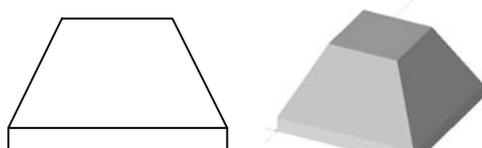
作成図形で回転体を選択し、OKを押すと回転体が作成されます。

回転体はデータパレットで分割数・円弧角度を編集できます。

テクスチャのスムージング機能と併用することで分割数が少なくても滑らかな曲面が作れます。



複数の多角形を同時に選択



多段柱体を作成



【多段柱体の図形形状について】

多段柱体を作成するとき複数の図形を選択します。選択した図形の形状が異なる場合、一番下にある図形の形が基準になります。

- 18 : 多段柱体

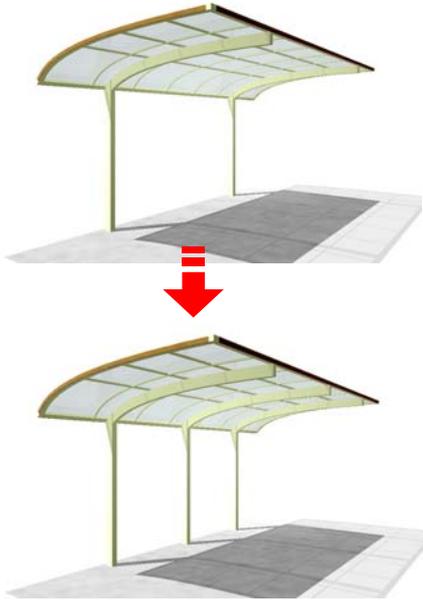
大きさの違う複数の図形を基準にした柱体を作成することが出来ます。

平面・立面を確認しながら各図形の位置を調整します。

基準になる図形をすべて選択し、3Dメニューから多段柱体を選択します。

既製製品を編集する（図形を複製）

eE-Formerで既製製品の編集ができます。カーポートの柱を3本に編集してみましょう。



編集手順

eE-Former起動

eE-Formerを起動します。

編集作業

好みの形に編集します。

eE-CADへ戻す

編集した製品をeE-CADへ戻します。

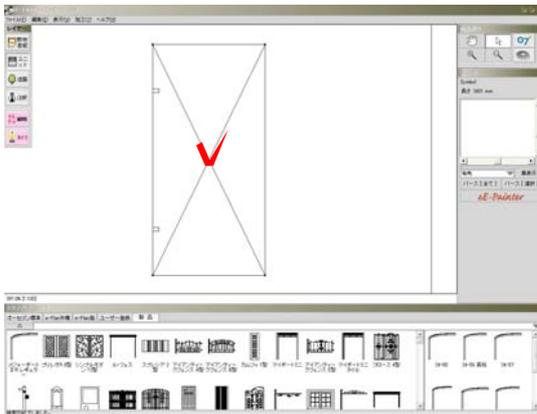


レイヤは「ユニット」

eE-Former起動

eE-Formerを起動します。

-1：ユニットレイヤで画面に配置してある編集したい製品を選択します。



-2：「加工」メニューの「eE-Fomer」をクリックします。

eE-Formerが起動します。

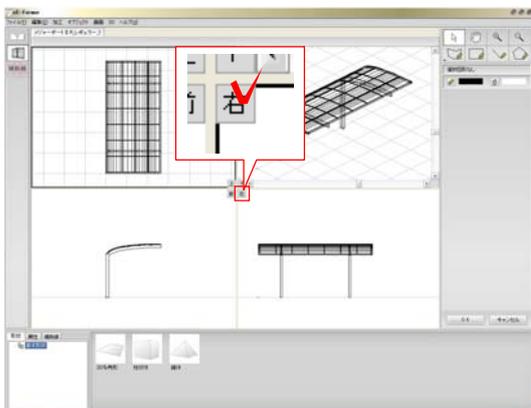


編集作業

好みの形に編集します。今回はすでにある柱を利用して、柱を追加します。

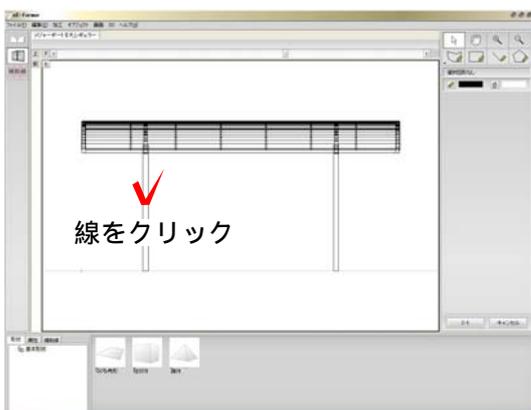
-1：画面中央の「右」をクリックします。

右から見た画面が大きく表示されます。



画面詳細説明は「eE-Former」またはデジタルマニュアルを参照してください。

-2：増やしたい柱の線をクリックします。



オブジェクト



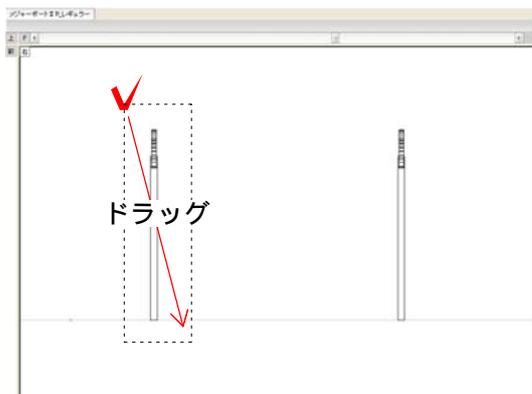
グループに入る

-3：「オブジェクト」メニューで「グループに入る」をクリックします。

-4：左図の状態になるまで
「-2：柱の線をクリック」
「-3：「グループに入る」をクリック」
を繰り返します。

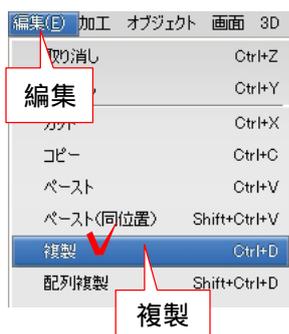
柱と梁が表示された状態にします。





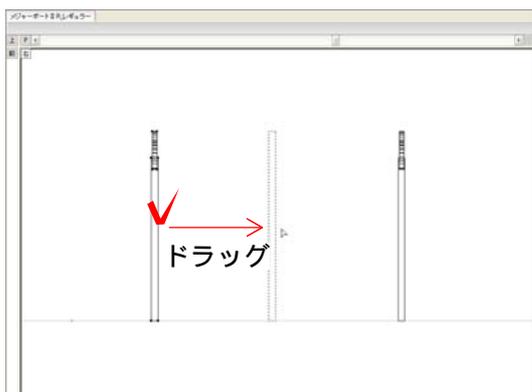
-5：柱と梁を囲んで選択します。

柱と梁が選択されます。



-6：「編集」メニューで「複製」をクリックします。

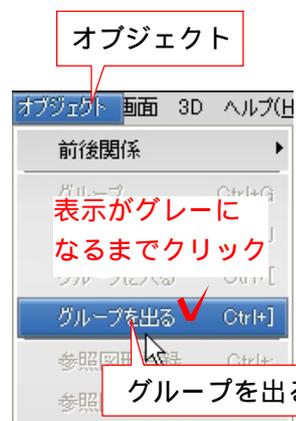
同じ位置に図形が複製されました。



-7：複製した柱の線をドラッグして配置したい位置へ移動します。

✏️ 少しだけ移動させたい時は「Shiftキー」+「」で、数値が決まっている場合は「加工」メニューの「移動」で動かすことができます。

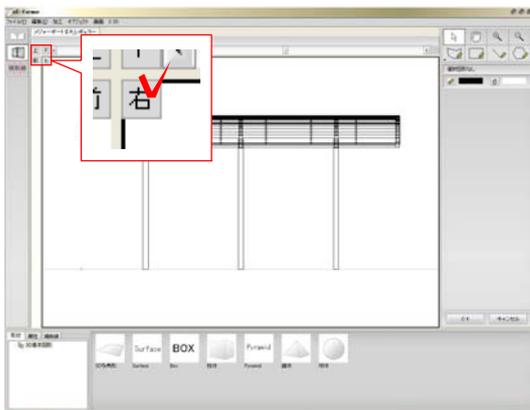
✏️ 間違えた場合は、「Ctrlキー」+「Z」で戻ることができます。



-8：「オブジェクト」メニューで「グループを出す」をクリックし、「グループを出す」が表示されなくなるまで繰り返し作業します。

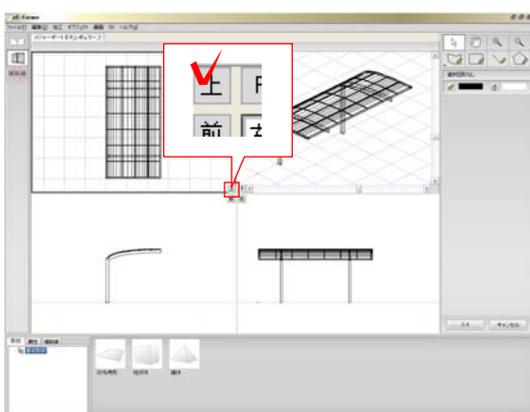
カーポート全体が表示されます。

✏️ 「グループを出す」のショートカットは「Ctrlキー」+「]」です。



-9：画面左上の「右」をクリックします。

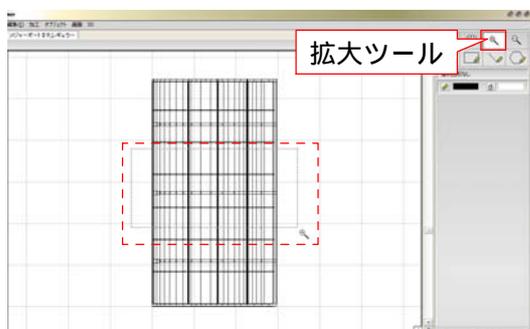
画面表示が4画面に戻ります。



2D図形を編集します。

-10：画面中央の「上」をクリックします。

上から見た画面が大きく表示されます。

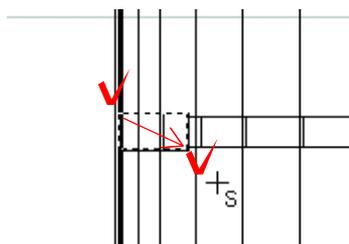


-11：複製して増やした柱を拡大します。

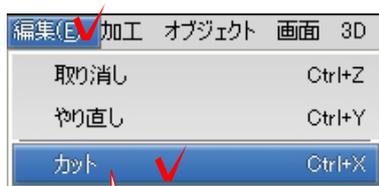
柱が大きく表示されます。



-12：画面右上の「手描き四角形ツール」を選択し、四角を描きたい対角の点をクリックします。



四角形が完成します。



カット

-13：描いた四角形を選択し、「編集」メニューの「カット」をクリックします。



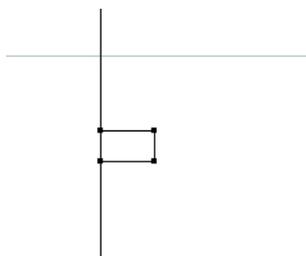
-14：画面左上の「2D編集」をクリックします。

2D表示になります。



-15：メニューの「ペースト(同位置)」をクリックします。

四角形が同じ位置に四角形が貼り付けられます。

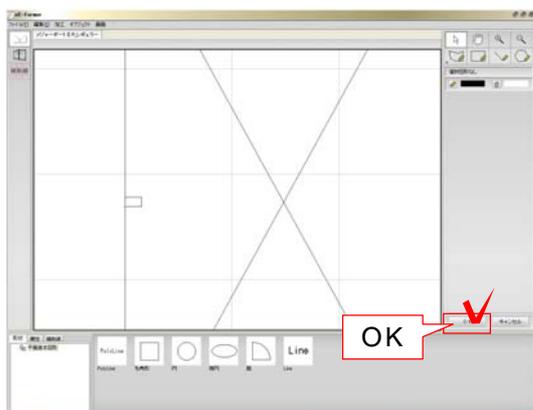


位置がずれた時は「Shiftキー」+「」で動かして調整しましょう。

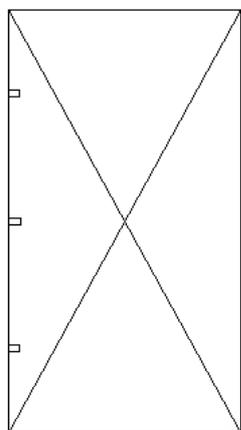
eE-CADへ戻す

編集した製品をeE-CADへ戻します。

-1：画面右下の「OK」をクリックします。



編集した製品がeE-CADに配置されます。



オリジナル製品を作成する

eE-Formerでオリジナル製品の作成ができます。ベンチを作成してみましょう。



編集手順

eE-Former起動

eE-Formerを起動します。

作成

好みの形を作成します。

eE-CADへ戻す

編集した製品をeE-CADへ戻します。



レイヤは「ユニット」



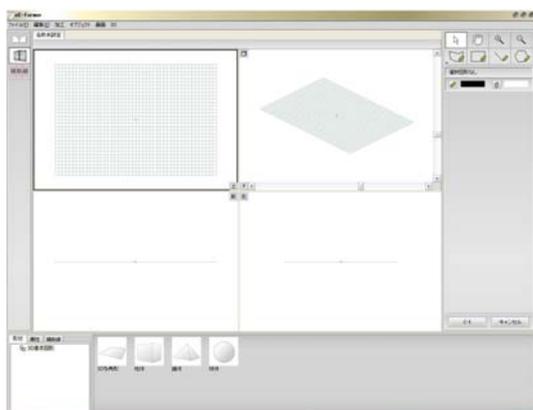
eE-Former起動

eE-Formerを起動します。

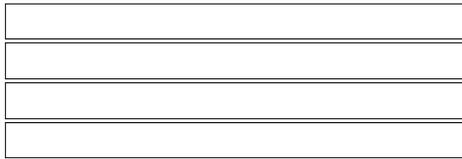
- 1 : 何も選択していない状態で「加工」メニューの「eE-Former」をクリックします。



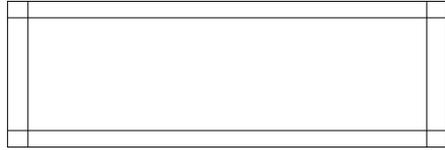
位置がずれた時は「Shiftキー」+「」で動かして調整しましょう。



eE-Formerが起動します。



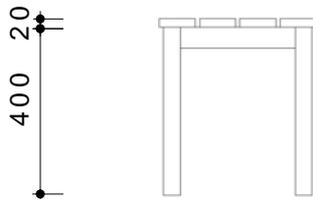
平面図（ベンチ座面）



平面図（脚）



立面図（正面）



立面図（側面）

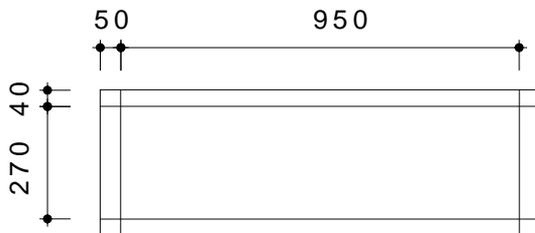
作成作業

オリジナルの製品を作成します。今回はベンチを作ってみましょう。

ベンチの平面図、立面図を良く見て作成する形をイメージしておきましょう。

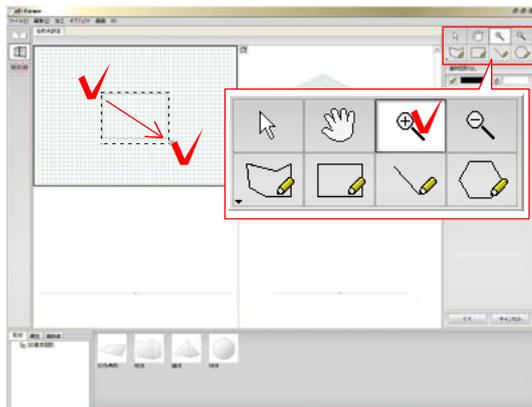


完成パース



平面図（脚）

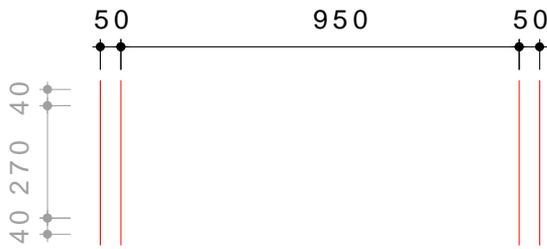
平面図を元にベンチの脚の補助線を描きます。



-1：画面右上の「拡大ツール」をクリックし、4画面左の平面図を拡大します。



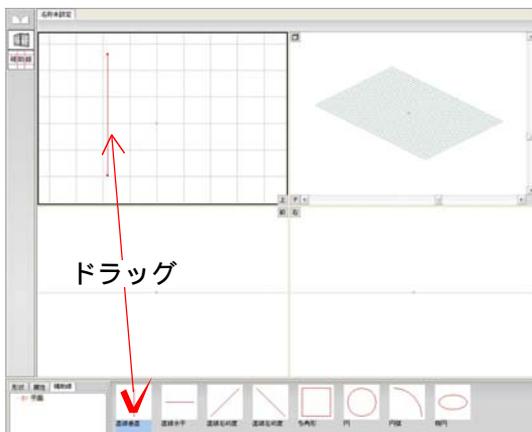
拡大しておくこの後の作業がしやすくなります。



左図のように補助線を描きます。



-2：画面左上の「補助線」をクリックします。



-3：画面左下の一覧から「直線垂直」を「上」の画面へドラッグします。

縦の補助線が描けました。

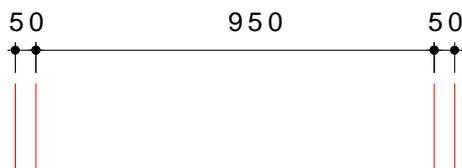


-4：配置した補助線を選択し、「編集」メニューから「配列複製」をクリックします。

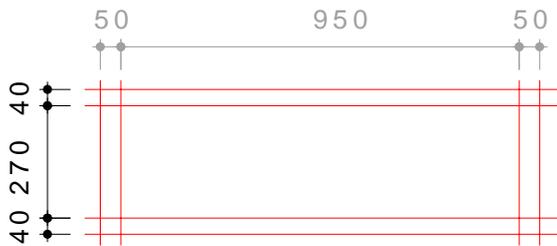


左図のように入力して「OK」をクリックします。

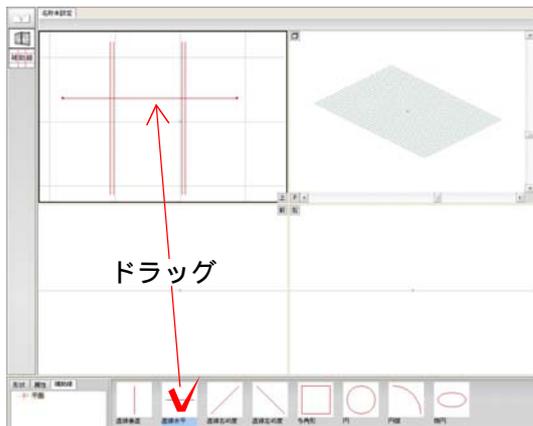
縦の補助線が2本描けました。



-5：同様にあと2本補助線を配列複製します。

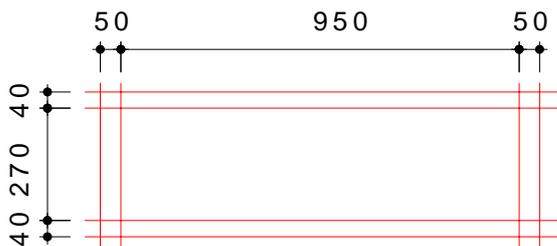


同様にして残り2つの補助線も描いてみましょう。



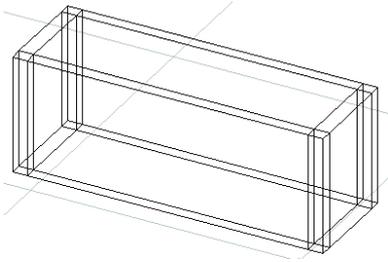
-6：画面左下の一覧から「直線水平」を「上」の画面へドラッグします。

横の補助線が描けました。



-7：配置した補助線を -4同様に配列複製します。

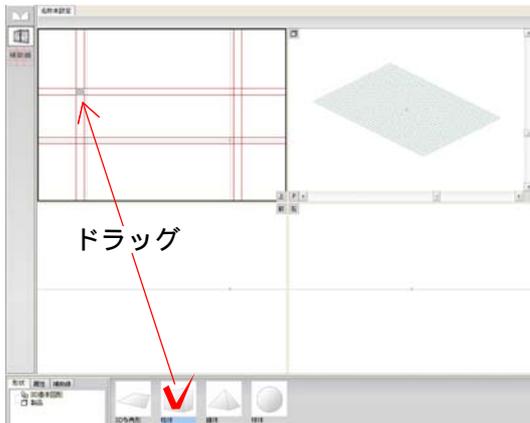
補助線が描けました。



3Dを設定し、ベンチの脚を作ります。



-8：画面左上の「3D編集」をクリックします。



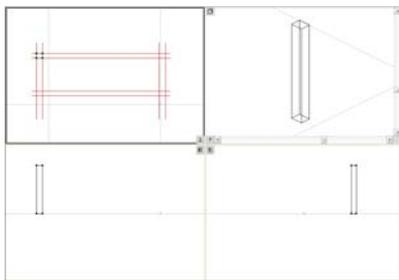
-9：画面左下の一覧から「柱体」を「上」画面の補助線枠内へドラッグします。



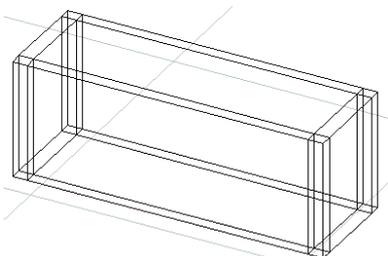
グレーになった部分が柱体になります。



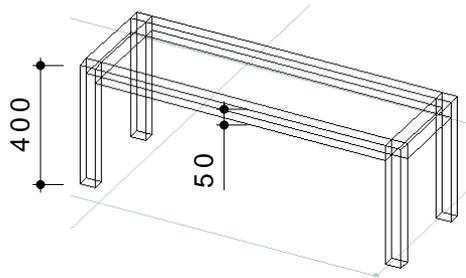
-10：設定画面に柱体の高さを入力します。



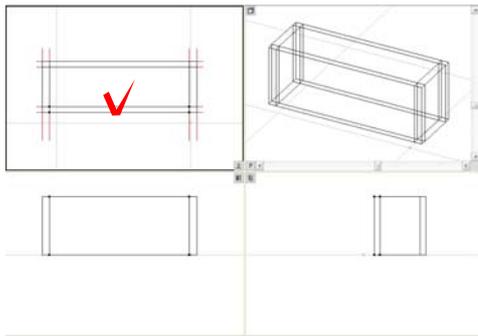
他の作業画面に柱体が表示されます。



-11：同様に他の部分も作成します。



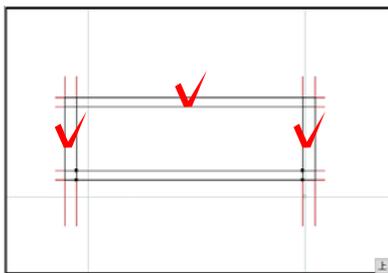
梁の高さを調整します。



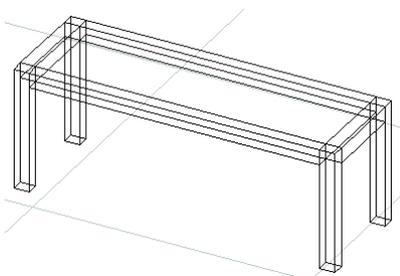
-12 : 「上」画面で梁部分をクリックします。



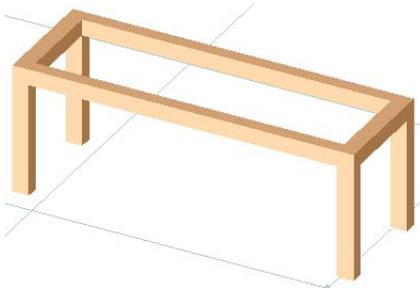
-13 : 画面右端のデータパレットで左図のように数値を入力します。



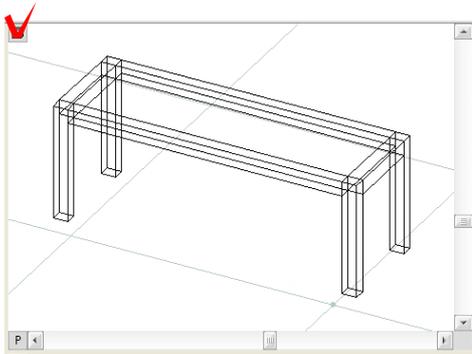
-14 : 左図のように他3箇所も同じ設定にします。



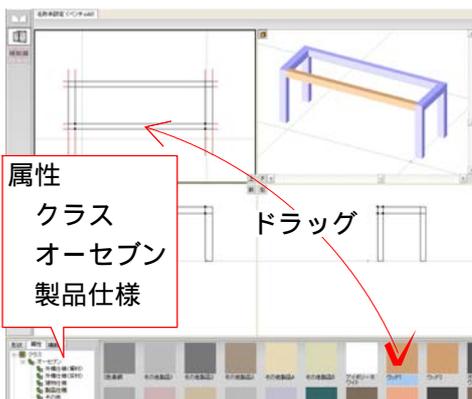
梁が調整されました。



図形に仕様を設定します。



-15: 「P」画面上の  をクリックします。

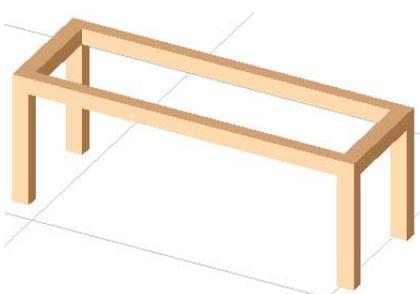


属性
 クラス
 オーセブン
 製品仕様

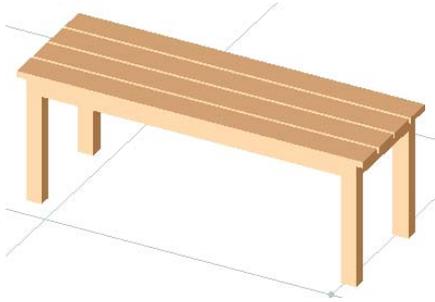
ドラッグ

-16: 「上」画面で梁部分をクリックし、画面下の「属性」「クラス」「オーセブン」「製品仕様」「ウッド1」をドラッグします。

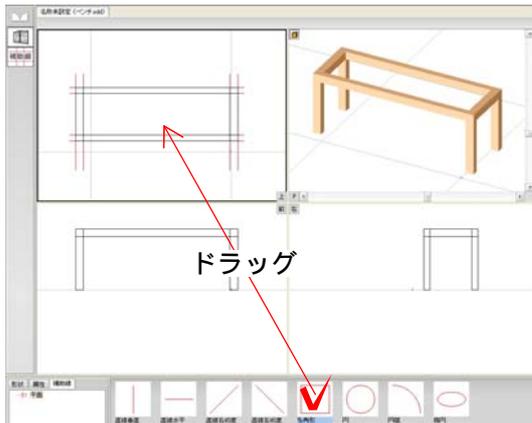
「P」画面の色が変わります。
 他の図形も同様に仕様を設定します。



仕様が設定されました。



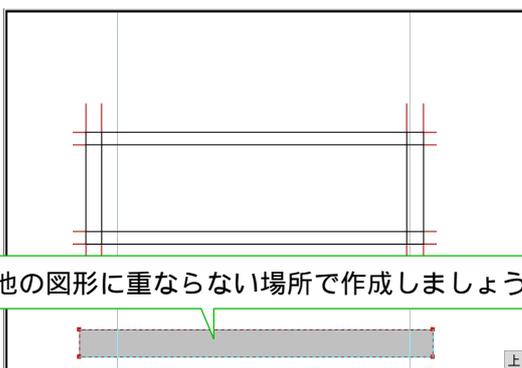
ベンチの座面を作成します。



-17：画面左上の「補助線」をクリックし、画面左下一覧から「多角形」を「上」画面へドラッグします。



-18：多角形補助線を左図のようにサイズ変更します。

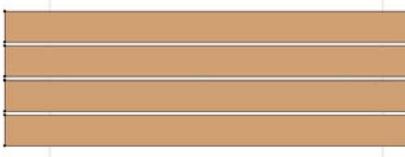


-19：「3D編集」の「柱体」を補助線内にドラッグし、 -12～16の手順で下図のように設定します。



-20：作成した図形を左図の設定で配列複製し、脚の上に配置します。

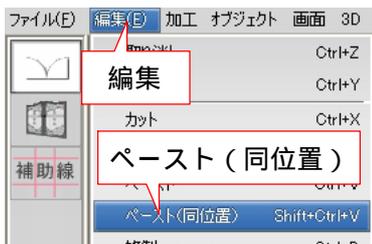
ベンチの形ができました。



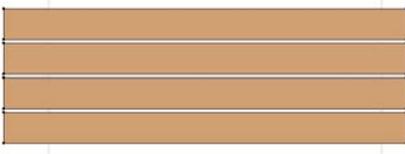
2D図形を作成します。



-20：ベンチの座面の図形（4つ）を選択し、画面上「編集」「コピー」をクリックします。

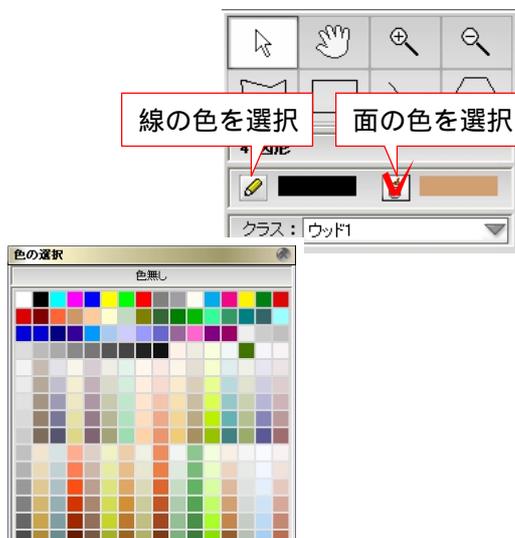


-21：画面左上の「2D編集」をクリックし、「編集」「ペースト(同位置)」をクリックします。



2D図形ができました。

💡【平面図の色を変更するには…】



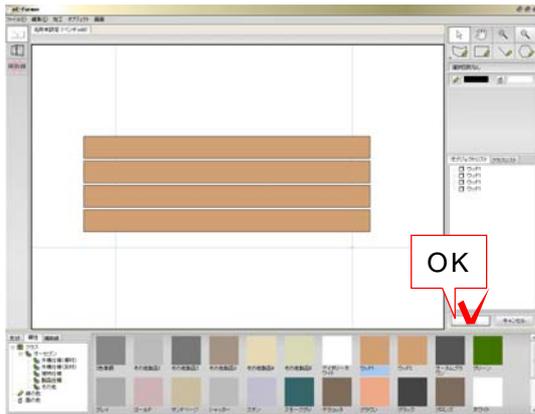
画面右上のデータパレットで をクリックし、カラーパレットから好きな色を選択します。

 線の色も同様に変更ができます。

 元に戻したいときは「Ctrl」キー+「Z」で取り消しができます。



作成した図形をeE-CADへ配置します。



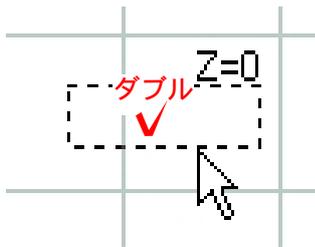
-22：画面右下の「OK」をクリックします。



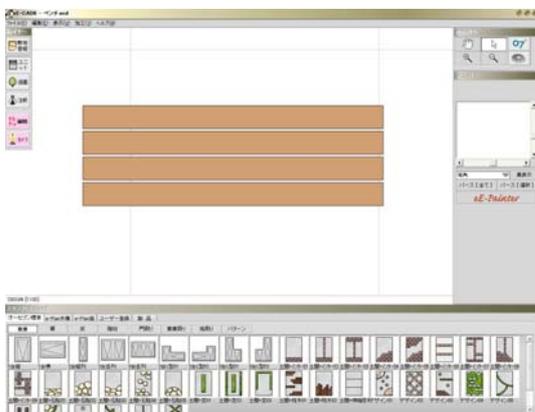
-23：「いいえ」をクリックします。



外部データとして保存する場合は「はい」をクリックし、名前を付けて保存します。



-23：カーソルの先に点線で図形の輪郭が表示されます。配置したい位置でダブルクリックすると画面上に配置されます。



作成したベンチが配置されました。